

きゅうり、とまと、りんごで、みかん主産県が各産地のPRを行いました。1日はきゅうりの丸かじり、トマトスープの試飲と多彩なトマト・ミニトマトを展示したほか、2日には青森県のひょうろりんご、「ひょうろ太君」と、みかんの試食・販売を行いました。家族連れのお客様が多く、野菜・果物の試食は子どもたちを中心に大好評でした。

11月1～2日

JA全農農産物
チャリティフェアで
消費者にPR
東京都渋谷区NHK内

JAグループ(県農協・県連・県本部)の園芸部門では、8月31日の「やさしいのど」に引き続き、11月上旬～12月中旬にかけて、原油価格・生産資材価格の高騰による厳しい農家経営を、消費者に訴え理解を求めるとともに、野菜・果物の消費拡大を目的とした「野菜・果物もって食べてネーキャンペーン」を実施しました。



農産物チャリティフェア

消費者や若者向けに 試食や講習会、メニューを提供

「野菜・果物もって食べてネ！ キャンペーン」実施



鍋料理の講習会も行われました(和洋女子大)

11月下旬～12月上旬

大学生に
野菜・果物の
消費拡大をPR

野菜・果物の摂取量が少ない若者層(大学生)には、大学でのセミナー開催や学食での鍋メニューの提供を通じて、野菜・果物の消費拡大を訴えました。

◆和洋女子大学 千葉県市川市

11月29日 女子大生を対象とした「野菜・果物摂取促進特別セミナー」を開催しました。タレントの大橋美代子さんら3人がパネリストとして、女子大生の関心が高い美容・健康、

食生活の話から日本農業の現状まで幅広い話題を提供しました。セミナー終了後、会場を学食に移し、野菜をたっぷり使った鍋料理の講習会を行いました。

◆東京農業大学 東京都豊島区

11月25日から2週間、学生に野菜いっぱい(の)昼食を取ってもらうため、学食で鍋定食を提供しました。鍋料理に、ご飯・小鉢をセットした380円の鍋定食は、男女ともに人気で、毎日すぐに限定数に達しました。

12月3日には、鍋・野菜のマーケティングに関する講演(協力:株式会社ミツカン)と、学食で提供されている鍋レシピの実演を行いました。

りんご主産県(青森・岩手・秋田・山形・福島・長野)の各県本部は、学食でりんご2400個を無償提供しました。期間中は学食だけでなく、キャンパス内のおちこちで、りんごをかじる学生が多く見られました。



学食でりんごを配りました(東京農大)



鍋定食はすぐに売り切れになるほどの人気(東京農大)